


施設カルテ①

基準日： 令和5年4月1日

施設基本情報

施設名称	北幸楽荘			施設外観	
施設概要	集会室、教養娯楽室、図書室、機能回復訓練室、研修室、浴室、生活・健康相談室、ホール、デイルーム、休憩室、多目的ホール、売店、事務室				
設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションなどを提供し、高齢者が健康で明るく、楽しい生活を送るよう支援することを目的とする。				
設置根拠（設置条例等）	足利市老人福祉センター条例				
所在地	江川町3丁目62-2				
施設運用開始日	平成7年9月30日	施設運用終了日			
所管部	健康福祉部	所管課	元気高齢課		
分類	大分類	保健・福祉施設	運営形態		指定管理
	中分類	高齢福祉施設	防災拠点指定等		
	小分類	老人福祉センター	配置形態		単独施設
校区	小学校区	北郷小学校	借地の状況		借地なし
	中学校区	北中学校	財産区分	行政財産	
土地	用途地域	第一種中高層住居専用地域	目的外使用	無	
	駐車場台数	50 台	建築面積	832.96 m ²	
	敷地面積	2,247.59 m ²	合計延床面積	2,239.14 m ²	
			法定容積率	200 %	
			法定建ぺい率	60 %	

財務情報

【市の収入・支出】(千円)

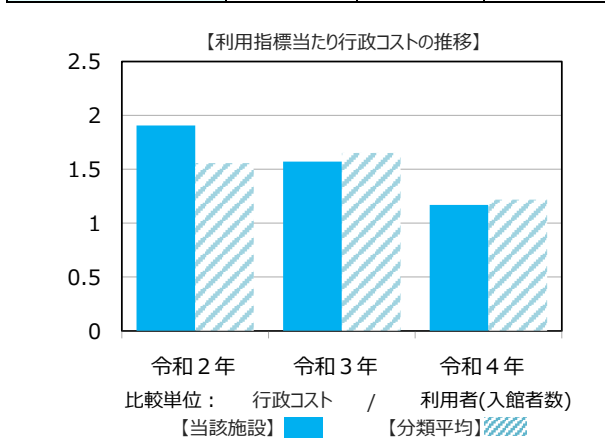
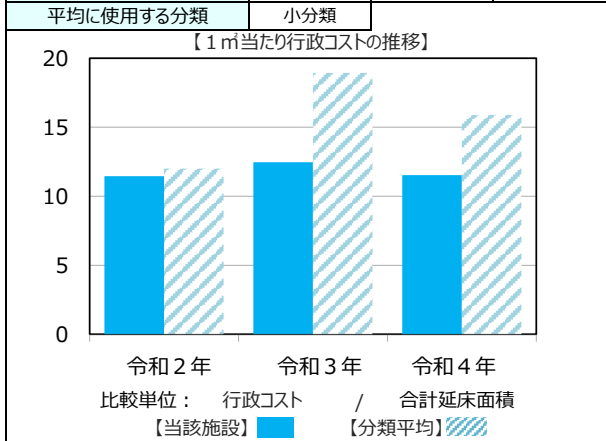
項目/年度	令和2年	令和3年	令和4年
歳出 (A)	25,696	27,926	26,144
光熱水費等	0	0	0
修繕料	0	2,860	1,052
維持保全費	726	0	0
指定管理料	24,970	25,066	25,092
その他	0	0	0
土地・建物の使用料	0	0	0
人件費	維持管理	0	0
	事業運営	0	0
事業運営費	0	0	0
歳入 (B)	34	29	330
使用料	34	29	30
財産収入	0	0	0
国県支出金	0	0	0
その他	0	0	300
収支(A-B)	25,662	27,897	25,813
対前年度比(%)		8.7	▲ 7

【指定管理者の収入・支出】(千円)

項目	令和2年	令和3年	令和4年
歳出 (C)	17,731	22,844	25,939
光熱水費等	2,926	5,965	8,525
修繕費	1,130	1,084	660
維持保全費	4,030	3,926	4,272
その他	0	0	0
土地・建物の使用料	0	0	0
事業運営費	3,793	2,272	1,943
人件費	5,851	9,596	10,540
歳入 (D)	26,220	26,796	27,192
指定管理料	24,970	25,066	25,092
利用料金等	1,176	1,629	2,022
自主事業	56	72	74
その他	18	30	5
収支(C-D)	(8,489)	(3,952)	(1,252)
対前年度比(%)		53.4	68.3

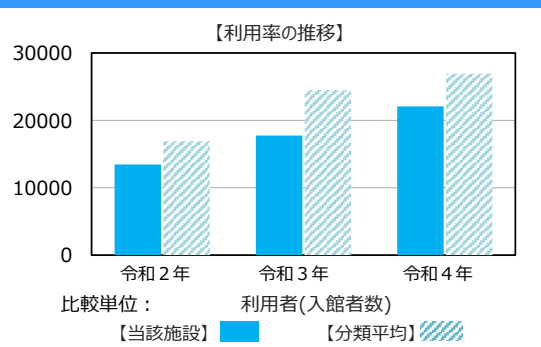
1m当たりの行政コスト	令和2年	令和3年	令和4年
[収支(A-B)/合計延床面積]	11.5	12.5	11.5

利用指標当たりの行政コスト	令和2年	令和3年	令和4年
[収支(A-B)/利用指標]	1.9	1.6	1.2



施設サービス供給状況

利用指標	単位	令和2年	令和3年	令和4年	対象	
1	利用者(入館者数)	人	13,457	17,743	22,066	◆
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						



施設カルテ②

基準日: 令和5年4月1日

建物基本情報

No	棟名称	主体構造	建築年	法定耐用年数	残存耐用年数	階数		延床面積
						地上	地下	
	バリアフリー			耐震基準	改修履歴			
車椅子用エレベーター	施設玄関口スロープ	身障者用トイレ	令和2年		令和3年	令和4年		
1	北幸楽荘 有	鉄骨鉄筋コンクリート造 有	平成7年 有	47年 新耐震	19年	4	0	2239.14 m ² ろ過塔交換修繕
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								

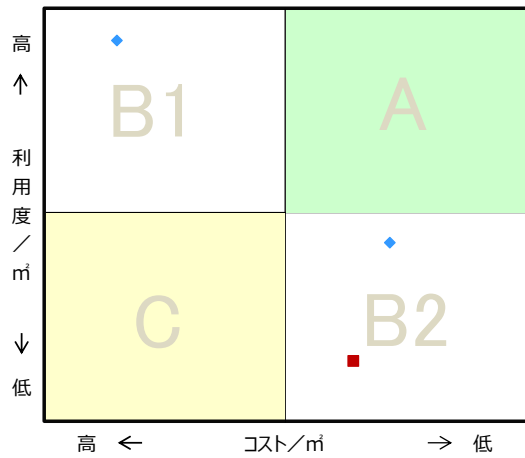
自由記載欄

--

平均に使用する分類 小分類

費用対効果分析 (m²あたり利用度とm²あたりコスト)

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】
○費用対効果分析 (m²あたりコストとm²あたり利用度)



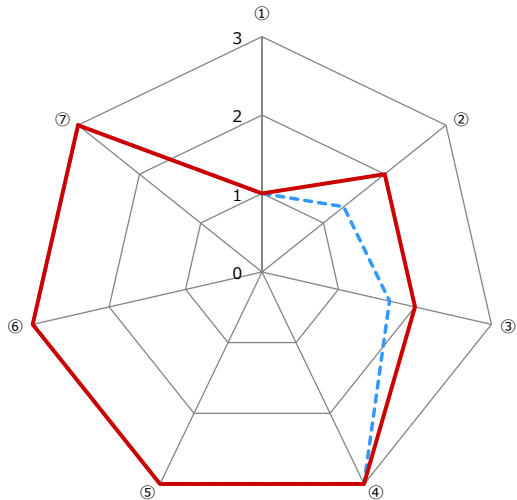
区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B 1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B 2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例 ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象(分類)の他施設

・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の移動平均値である。

施設分析

【施設性能評価】
施設管理者アンケートによる定性的な評価



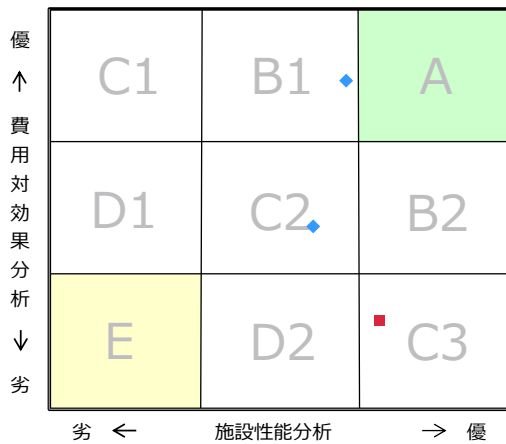
番号	項目	チェックポイント
①	外壁	竣工・修繕後の経過年数と維持管理・劣化状況
②	屋上防水	竣工・修繕後の経過年数と維持管理・劣化状況
③	給排水設備	竣工・修繕後の経過年数と維持管理・劣化状況
④	空調設備	劣化状況と運転状況
⑤	老朽化状況	設定耐用年数からの残存年数による判断
⑥	耐震化状況	耐震基準、耐震診断実施状況
⑦	バリアフリー対応等	「出入口(スロープ)、エレベーター、トイレ」についての対応状況

施設性能評価の考え方	不良 ←—————→ 良好
レーダーチャートの大きさ	小 ←—————→ 大

凡例 — 当該施設 - - - 比較対象(分類)の他施設

施設評価

【一次評価(費用対効果/施設性能)】



区分	対応	方向性の考え方
A	継続	長寿命化を基本とする
B 1	向上	施設性能の向上を検討する
B 2	向上	費用対効果の向上を検討する
C 1	改善	施設性能の改善を検討する
C 2	改善	施設性能と費用対効果、両方の改善を検討する
C 3	改善	費用対効果の改善を検討する
D 1	見直し	施設性能の見直しを検討する
D 2	見直し	費用対効果の見直しを検討する
E	要見直し	施設性能と費用対効果、両方を見直しが必要である

凡例 ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象(分類)の他施設